

## 平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年8月13日

上場会社名 日本高周波鋼業株式会社

（コード番号：5476 東証第1部）

（URL <http://www.koshuha.co.jp/>）

代表者役職・氏名 取締役社長 前野 定弘

（TEL：（03）- 5687 - 6025）

問合せ責任者役職・氏名 管理部長 田中 慶寿

### 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度 : 無  
における認識の方法との相違の有無

### 2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

#### （1）売上高

（注）百万円未満は切捨てて表示しております。

|             | 百万円    | %    |
|-------------|--------|------|
| 16年3月期第1四半期 | 8,297  | 23.6 |
| 15年3月期第1四半期 | 6,711  | -    |
| （参考）15年3月期  | 29,141 |      |

（注）売上高は、当該四半期までの累計値であります。

パーセント表示は、前年同四半期比増減率です。

平成15年3月期第1四半期の売上高は、当第1四半期と同様の方法により算出しております。

#### [ 売上高に関する補足説明 ]

当第1四半期のわが国経済は、イラク戦争の終結、期後半の株価の上昇など一部には景気回復の兆しが見られましたが、デフレ傾向の中での需要回復のため、依然として不透明感はぬぐえない状況が続きました。

しかしながら、特殊鋼業界につきましては、主要需要業界である自動車生産が好調に推移したこともあり、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は業界全体で前年同期比8.3%増の469万トンとなりました。

このような環境の中で、当社グループの売上高は前年同期比23.6%増の8,297百万円となりました。

部門別売上高としましては、特殊鋼部門は全般的に堅調な受注環境であったことと、工具鋼海外市場の開拓、ステンレス棒鋼の積極的拡販などもあり、6,194百万円（前年同期比27.6%増）となりました。金型工具部門は709百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

鋳鉄部門は主に自動車業界向けに数量が増加し、1,393百万円（前年同期比16.8%増）となりました。

これらは当初予想していた売上高に対し、ほぼ同レベルのものであります。

#### （2）当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は特に発生しておりません。

3.平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

|     | 予想売上高  | 予想経常利益 | 予想当期純利益 | 1株当たり予想当期純利益 |
|-----|--------|--------|---------|--------------|
|     | 百万円    | 百万円    | 百万円     | 円 銭          |
| 中間期 | 15,600 | 250    | 100     | 0.68         |
| 通期  | 31,400 | 650    | 300     | 2.04         |

業績は概ね当初予想通りに推移しており、前回公表(平成15年5月23日)の業績予想に変更はありません。

(ご参考)平成16年3月期の通期業績予想(個別)(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

|     | 予想売上高  | 予想経常利益 | 予想当期純利益 | 1株当たり予想当期純利益 |
|-----|--------|--------|---------|--------------|
|     | 百万円    | 百万円    | 百万円     | 円 銭          |
| 中間期 | 11,000 | 350    | 200     | 1.36         |
| 通期  | 22,200 | 650    | 300     | 2.04         |

業績は概ね当初予想通りに推移しており、前回公表(平成15年5月23日)の業績予想に変更はありません。

以上